

売文問答

芥川龍之介

青空文庫

編輯者 わたしの方の雑誌の来月号に何か書いて貰へないでせうか？

作家 駄目だめです。この頃のやうに病氣ばかりしてゐては、到底たうてい何もかけません。

編輯者 其処そこを特に頼みたいのですが。

この間かんに書かば一巻の書をも成すべき押問答あり。

作家 ——と云ふやうな次第ですから、今度だけは不承ふしょうして下さい。

編輯者 困りましたね。どんな物でも好いのですが、——二枚でも三枚でもかまひません。あなたの名さへあれば好いのです。

作家 そんな物を載のせるのは愚ぢやありませんか？ 読者に氣の毒なのは勿論もちろんですが、雑誌の爲にも損になるでせう。羊頭やうとうを掲かかげて狗肉くにくを売るとでも、悪口あくこうを云はれて御覽なさい。

編輯者 いや、損にはなりませんよ。無名の士の作品を載せる時には、善よければ善い、悪ければ悪いで、責任を負ふのは雑誌社ですが、有名な大家の作品になると、善悪とも責任を負ふものは、何時いつもその作家にきまつてゐますから。

作家 それぢやなほ更さら引き受けられないぢやありませんか？

編輯者 かしもうあなた位の大家になれば、一作や二作悪いのを出して、せいめい声名の下くだると云ふ患うれひもないでせう。

作家 それは五円や十円盗ぬすまれても、暮しに困らない人がある場合、盗んでも好いいと云ふ論法ですよ。盗まれる方こそ好いい面の皮つらです。

編輯者 盗まれると思へば不快ですが、義捐ぎえんすると思へばかまはんでせう。

作家 冗談じようだんを云つては困ります。雑誌社が原稿を買ひに来るのは、商売に違かひないぢやありませんか？ それは或主張を立ててゐるとか、或使命を持つてゐるとか、看板かんばんはいろいろあるでせう。が、損をしてまでも、その主張なり使命なりに忠ならんとする雑誌は少いでせう。売れる作家ならば原稿を買ふ、売れない作家ならば頼まれても買はない——と云ふのが当り前です。して見れば作家も雑誌社には、作家自身の利益を中心ことわに、断るとか引き受けるとかする筈ぢやありませんか？

編輯者 しかし十万の読者の希望も考へてやつて貰もらひたいのですが。

作家 それは子供こども瞞だましのロマンテイズムですよ。そんな事を真まに受けるものは、中学生なかの中にもゐないでせう。

編輯者 いや、わたしなどは誠心誠意、読者の希望に副たもつつもりなのです。

作家 それはあなたはさうでせう。読者の希望に副^そふ事は、同時に商売の繁^{はん}昌^{じやう}する事ですから。

編輯者 さう考へて貰^{もら}つては困ります。あなたは商売商売と仰^{おつ}有^{しや}るが、あなたに原稿を書いて貰^{もら}ひたいのも、商^{しやう}売^{ばい}氣^げばかりぢやありません。實際あなたの作品を好んでゐる為もあるのです。

作家 それはさうかも知れません。少くともわたしに書かせたいと云ふのは、何か好意も交^{まじ}つてゐるでせう。わたしのやうに甘い人間は、それだけの好意にも動かされ易い。書けない書けないと云つてゐても、書ければ書きたい氣はあるのです。しかし安^{やす}請^{すう}合^{けあひ}をしたが最^{さい}期^ご、碌^{ろく}な事はありません。わたしが不快な目に遇^あはなければ、必^{かならず}あなたが不快な目に遇^あひます。

編輯者 人生意氣に感ずと云ふぢやありませんか？ 一つ意氣に感じて下さい。

作家 出来合ひの意氣ぢや感じませんね。

編輯者 そんなに理窟^{りくつ}ばかり云つてゐずに、是^ぜ非^ひ何か書いて下さい。わたしの顔を立てると思つて。

作家 困りましたね。ぢやあなたとの問答でも書きませう。

編輯者 やむを得なければそれでもよろしい。ぢや今月中に書いて貰ひます。

覆面ふくめんの人、突然ふたり二人の間に立ち現る。

覆面の人 (作家に) 貴様きさまは情ない奴やつだな。偉らさうな事を云つてゐるかと思ふと、もう一時の責せめ塞ふさぎに、出たらめでも何でも書かうとしやがる。おれは昔バルザックが、一晩に素破すばらしい短篇を一つ、書き上げる所を見た事がある。あいつは頭に血あがが上ると、脚き湯やくたうをしては又書くのだ。あの凄まじい精力を思へば、貴様などは死人も同様だぞ。たとひ一時の責せめ塞ふさぎにしろ、なぜあいつを学ばないのだ? (編輯者に) 貴様も心がけはよろしくないぞ。見かけ倒しの原稿を載せるのは、亜米利加アメリカでも法律問題になりかかつてゐる。ちつとは目前もくぜんの利害の外ほかにも、高等な物のある事を考へろ。

編輯者も作家も声を出す事能あたはず、茫然ぼうぜんと覆面の人を見守るのみ。

(大正十年頃力)

〔未定稿〕

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

売文問答

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>